

ワークショップDRE/ShuRe-Hyogo

CUR-REN構築への道のり

中国学園リポジトリ
Chugoku gakuen Repository

CUR-REN

中国学園図書館の場合

発表者 菜崎 直子

1

中国学園概要

- 中国学園大学
 - 現代生活学部
 - 子ども学部
- 中国短期大学
 - 総合生活学科
 - 保育学科
 - 英語コミュニケーション学科
 - 音楽科
 - 情報ビジネス学科
 - 専攻科

535名

659名 (H21.12.1現在)

80名

2

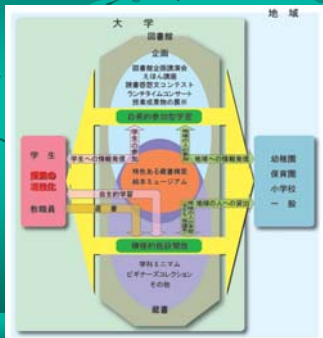
図書館の状況

- 蔵書数 122,661冊 (H21.3.31現在)
- 平成21年度購入雑誌タイトル数 167種
- 職員数 図書館長 教員課長
専任2名 (うち1名管理職)
派遣職員(週3日)1名




3

図書館運営方針



- アメニティーセンターの性格を加味
- 特色ある蔵書構築
- 積極的に地域に開放
- 図書館活動に学生の参画を促す
- 授業成果物の展示や実演の場を提供
- 地域との連携を強化

4

リポジトリとの出会い



導入先進大学からの報告

その結果...

大きな大学のすることよね

5

リポジトリとの再会

岡山大学から機関リポジトリに関するアンケート

↓

リポジトリって何？

リポジトリを知ろう

館長命令「リポジトリについて勉強しなさい」

↓

「リポジトリ」という文言の入っている研修会にはすべて参加

6

リポジトリとは

- どうやら大学の知識を公開することらしい
- 論文等をネットで公開しているようだ
- ネットで公開するということは、そのための設備があるようだ
- 印刷媒体は電子化しなければならないようだ
- 小規模なところは共同ですする方法があるらしい

7

共同リポジトリ参加まで(1)

学外からの働きかけ

- 岡山大学からの「営業」
岡山大学は機関リポジトリを構築済み
「岡山共同リポジトリ」を立ち上げる
「新たな設備投資はいりません！」
「印刷媒体を電子媒体にするのも、岡山大学でやれると思います」
「初期データも作ります」

↓
設備とお金はなくてもできるのでは



8

共同リポジトリ参加まで(2)

学内での動き

- 図書館運営委員会
特に必要を感じない
参加するときのために準備だけしておけば
- 紀要委員会
紀要委員会が著作権を持っているものについては公開してもかまわない
- 学長
まだ時期尚早では

9

リポジトリ参加は難しいのか？

国立情報学研究所からの通知

- 「紀要電子化事業は今年度で終了します」

えっ、うそ！ほんと？

10

岡山大学の再「営業」

- 学長にも直接話を聞いてもらおう！
- セールスポイント
「単独の機関リポジトリに見えるように画面を改良しました」
「他大学が参加しました」



11

岡山共同リポジトリへの参加

- 学長より参加承認
- 図書館運営委員会において参加決定
- 紀要委員会より紀要コンテンツの公開正式承認
- 幹部会で参加承認
- 教授会で参加承認

12

「岡山大学附属図書館と中国学園図書館とのあいだにおける岡山共同リポジトリへのコンテンツ登録に関する協定書」調印

中国学園リポジトリ
立ち上げ準備
(愛称: CUR-REN)



13

共同リポジトリ参加その後

- 国立情報学研究所より紀要電子化コンテンツ供与
- 「次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業学術機関リポジトリ構築連携支援事業 平成20-21年度委託事業(CSI事業)」追加公募に応募
- 試験公開を経て正式公開
- CSI事業 受託
- 著作権が論文著者にあるものについて許諾願いを発送・回収
- 紀要を電子化 → 電子化データ入力

14

共同リポジトリに参加するために

- 共同リポジトリの中心となる機関に頼る
- 頼るからには協力を惜しまない
- 準備を怠らない
- 学内の理解を得る
- 学内の理解を得たら即実行

15

今後の課題

- コンテンツの拡充
紀要の継続登録
修士論文
教材・授業のレジュメ
著作権の問題のない著作物など
- 学内外への周知

16

ご清聴ありがとうございました



中国学園図書館

17